

総合施設モデル事業 実地調査票等

○ 茨城県日立市	1
○ 高知県南国市	3
○ 群馬県明和町	5
○ 京都府綾部市	7
○ 山形県酒田市	9
○ 北海道登別市	11
○ 福島県二本松市	13
○ 岐阜県各務原市	15
○ 千葉県柏市	17
○ 東京都新宿区	19
○ 岡山県岡山市	21
○ その他	23

施設名・所在地	茨城キリスト教大附聖児幼稚園日立園 茨城県日立市
設置主体	公立・ <u>私立</u>
施設類型	1 幼保一体型 <u>2 幼稚園型</u> 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	

1 職員配置

書面調査概要	・0歳児に対する職員(両資格併有+保育士)配置4:1
①評価できる点など	・0歳～1歳を1グループとして経験のある常勤保育士2人、2歳児を1グループとして常勤保育士1人(在園児 0歳 6名 1歳 2名 2歳 6名 計14名)。他に系列大学からの学生アルバイトを導入し、結果として特に0～1歳児は1対1に近い配置。 ・1対1に近い配置は食事時間帯などに有益。ただし過剰配置は子どもの育ちに諸刃の剣の面もある。
②課題など	・入所児数が流動的なため将来を見据えた保育士の雇用が難しい面がある。 ・保育士を更に雇用して児童数を増やす意思はあるが、なかなか保育士が見つからないというのが実情。
③その他特記事項	・年齢別にアンバランスがあり、その点をチーム保育でカバー。

2 職員資格・研修

書面調査概要	・幼稚園の研修に交代で参加するようにしている。また、夏期研修会を実施。
①評価できる点など	・幼稚園の職員会議、園内研修に保育所から代表1人が参加し連携を維持。
②課題など	・開始1年目でまだまだ連携不足があり、今後に期待したい。
③その他特記事項	・低年齢児(長時間児)を保育するために新たに保育士を雇用したので、職員資格の問題はない。 ・将来は、午後の対応、夏休み、研修について職員のローテーションの中で対応していく予定。 ・系列の大学の幼児教育専攻との連携で研究・研修を行っている。

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	・教育・保育環境について問題は生じていない。
①評価できる点など	・2歳児は幼稚園の空き教室で対応、0～1歳児は職員室を改造して対応。スペースは十分広く、照明や環境も配慮されている。職員室の改造に当たっては、ほふく室として畳敷きのスペースを確保。乳幼児用トイレ、沐浴室を設置。家庭の台所と同程度の調理室(調乳室)。安全性、衛生的な配慮など、受入れのためのリフォームやリニューアルが随所に施されている。
②課題など	
③その他特記事項	

4 給食の状況

書面調査概要	・外部搬入:対象0～2歳児、搬入元(ケータリング業者)から15分(5km)。理想は自園調理だが、そのための調理室には大規模投資が必要。現状で十分とは考えていないが、管理栄養士で補っている、とのこと。
①評価できる点など	・非常勤であるが管理栄養士を雇用。
②課題など	・外部搬入なので年齢や季節に応じた細かい対応が十分でない。
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・養護と教育の融合が図られるよう多面的な配慮と工夫をしている。
①評価できる点など	・園長、教頭のリーダーシップと事業への熱意を感じる。
②課題など	・0～2歳児については、子どもの発達状況に応じた保育計画や指導計画の整備と、それに基づく保育の実施など、養護と教育の融合が図られるよう配慮が求められる。 ・保育計画・指導計画を策定していく予定。 ・意欲は確認できたので今後期待したい。
③その他特記事項	

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	学級は3歳児2クラス(担任はどちらも併有)、異年齢保育は実施していない。
①評価できる点など	
②課題など	・3歳未満児について入所児年齢不均衡もあり異年齢保育となっているが、幼稚園との交流はほとんどない。
③その他特記事項	・夕方に、低年齢児と年長児を一緒にしている。なお、障害児、外国人も受け入れている。

7 教育・保育内容③
その他

①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	・(父母の声)幼稚園の歴史が長いので、保護者から、幼稚園をやめてしまうのではないかと、また保育所児が来ることによって父母会の活動が低迷するのではないかと、との懸念の声があった。 ・スタートしてから間もないので評価はまだ。入りたいという問い合わせは増えている。

8 子育て支援

書面調査概要	・親子登園を年間25回実施。月に1回相談会を実施。
①評価できる点など	・子育て支援事業としては多様なメニューを用意。
②課題など	・親育ち支援、地域の支えあいの支援などの導入に期待。
③その他特記事項	・系列大学とタイアップした子育て相談や食育などを取り入れている。

施設名・所在地	ひまわり幼稚園 高知県南国市
設置主体	公立 私立
施設類型	1 幼保一体型 <u>2 幼稚園型</u> 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	・0歳児は預かっていない ・開所時間11時間30分(7時30分～19時) ・園児数200人(短時間児約120人、長時間児80人) ・3～5歳児は各2学級 ・外部搬入による給食

1 職員配置

書面調査概要	・職員一人あたりの幼児数(併有者+保育士) 1、2歳・・10.75(併有+保育) 3歳・・28.50(併有+保育) 4、5歳・・28.00(併有+幼)
①評価できる点など	・職員募集を積極的に行っているが、思うように応募が無いなどの困難な状況の中で引き続き工夫し努力を行っている。
②課題など	・有資格者の配置の充実が望まれる。
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	・併有者7人(1～2歳児3人)、幼稚園教諭6人、保育士1人(2歳児) 無資格者4人(1～2歳児) ・研修頻度:3～5歳児担当は週1回、1～2歳児担当を含めた全職員対象の研修は月1回実施
①評価できる点など	
②課題など	・月1回程度実施しているが、さらに職員の研修機会の確保により努力が望まれる。
③その他特記事項	

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	・幼稚園舎、子育て支援センター「夢工房」
①評価できる点など	・増設した子育て支援センターの一部を1・2歳児に使用している。 ・畑、田んぼを設けるなど、特色ある教育、保育に取り組んでいる。
②課題など	
③その他特記事項	

4 給食の状況

書面調査概要	・一部外部搬入:1～2歳児は自園調理、3～5歳児は外部搬入(民間弁当宅配業者)宅配業者から幼稚園までの距離約6km ・時間約20分
①評価できる点など	・食育を重んじ、積極的に取り組んでいる。
②課題など	・アレルギー児の食事については、施設職員が除去するか、弁当を持参させて対応しているが、外部搬入事業者が対応するよう改善が求められる。
③その他特記事項	・将来的には全体(幼稚園部分を含む)自園での調理を検討している。

5 教育・保育内容① (6を除く) 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など

書面調査概要	・施設の経験年数の違いに配慮
①評価できる点など	・1～2歳児は保育所保育指針により、3～5歳児は幼稚園教育要領により保育、教育が計画されている。
②課題など	
③その他特記事項	・今後3～5歳児で預かり保育対象児の増加が見込まれる。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	同一年齢学級編成(長短別離)→2クラスで分ける
①評価できる点など	・異年齢保育に積極的に取り組んでいる。
②課題など	
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より自己評価に取り組んでいるが、今後様式等の整備が望まれる ・第三者評価についても、効力あるものとするように検討が必要。 ・保護者が自由に入出りできるスペース(電車車両を改造した保護者会館)と園とのコミュニケーションがあり、保護者から各種行事及び参画の可能性が大きいと思われる。
--	---

8 子育て支援

書面調査概要	・週1回 低年齢児(0～3歳児)に施設開放(利用者 3～15人)
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ情報交換 ・小学生土曜学校 ・長期休暇中学童保育 ・親父の会(在園児父親) ・子育て相談などの 多種多様な子育て支援活動を展開しており評価できる。
②課題など	
③その他特記事項	・子育て支援センターはスペースを区切って1・2歳児の保育にも使用している。

施設名・所在地	明和幼稚園・明和保育所 群馬県明和町
設置主体	公立・私立
施設類型	1 幼保一体型 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度から合築形態で運営 園児数約290人(短時間児約170、長時間児140人) 外部搬入による給食

1 職員配置

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> 低年齢児に対する職員配置が保育所基準を下回っている。(0歳児4:1、1・2歳児6.5:1) 0～2歳は正職員1名を必置
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> 職員配置を確認したところ、保育所、幼稚園の配置基準をともに満たす。 経験のある保育者が多い点が高い。様々な経験年数の職員配置となっている。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> 職員配置が別、人事交流が少ないなど、一体的な職員配置・運用を図っていない。 幼稚園と保育所の職員は特に合同するといったことがなく、総合施設としてのよさが活かされていない。
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> 併有14人、幼稚園教諭7人、保育士0人、無資格0人 保育所職員は研修日を確保することが難しいので、複数の研修日を確保し実施しているとのこと。
①評価できる点など	
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教諭は保育士資格を持っていない。 保育所の研修が不足しているように思われる。 幼保合同の研修が足りない。
③その他特記事項	

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> 教育・保育環境について問題は生じていない。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> 立派な建物・園庭である。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> 施設の活用の工夫を望みたい。 設備の充実が課題である。特に、保育所が十分でないように思える。
③その他特記事項	

4 給食の状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> 一部外部搬入:対象児童3～5歳、搬入に係る時間15分(3km)(年齢に応じた給食の提供は不十分であると回答。書面上、アレルギー、体調不良児については言及なし。) 「小中学校の学校給食と同じ内容ではなく、幼児食(0～2歳)を考えた献立を別に考えてほしい」との保護者の意見あり。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> 3歳未満児については自園での調理を行っている。離乳食への対応もなされている。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> 1・2歳児に適した献立、刻み方、味付けとなっていない。
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・0歳～就学前までの発達過程を踏まえ、家庭や地域との連続性に配慮。
①評価できる点など	・教育課程・保育計画は旧来の幼稚園・保育所のものを使っているが、現在、統合したものを作成中である。
②課題など	・幼稚園・保育所の課程や計画がこれまでの経緯の中で作られているものなので、統合は相当に困難が予想される。さらに、合同の活動もまだ少なく、幼稚園・保育所の職員の相互交流も多くないので、難しいかもしれない。 ・3歳以上児について午前幼稚園教育要領、午後は保育所保育指針に基づいて保育という取り組みについて、さらに検討する必要がある。
③その他特記事項	・低年齢児の保育の計画については、十分検討した上で、0歳から6歳までの一貫性のある保育の計画を作成することが必要である。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・幼稚園部分においては学級制を採用。 ・合同活動においては幼保の混合保育(学級制によらない)及び異年齢交流を中心とする。
①評価できる点など	
②課題など	・合同保育の数や活動がまだ少ない。 ・合同保育が行事を中心に行われているが、幼保と保育者が連携することにより、恵まれた環境を生かした、日常の保育での合同保育を推進することが求められる。 ・異年齢での保育についても、保育の計画に位置付けして積極的に取り組むことを検討する必要がある。 ・日常の遊びでの子どもの交流が少ない。
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

①評価できる点など	
②課題など	・施設が幼稚園と保育所とに別れ、職員室も施設の両端にあるため、日頃の会議が一緒に出来ない問題がある。 ・保護者も幼稚園と保育所とに分かれていて、まとまりがない。 ・幼保の職員が、研修の意義を確認し合い、勤務体制の工夫をする等して、園内研修、園外研修に幼保の職員が共に参画できるように検討することが必要である。

8 子育て支援

書面調査概要	・特定保育、地域子育て支援センター、つどいの広場を実施。
①評価できる点など	・週に2回、未就園の親子の集いを可能にしている。 ・子育て相談も専門家との連携を図っている。
②課題など	・地域に一つの場のようなことから、未就園の親子の参加数をもっと多くてよいだろう。 ・保育への保護者の関わりの工夫もほしい。 ・一時保育(幼稚園休暇中も含む)の実施等、入所(園)している保護者や地域の子育て家庭へのニーズ調査等をして、対応することが必要である。
③その他特記事項	

9 その他

・保育料について：幼稚園の保育料・給食費がかなり低額であることもあり、幼稚園への入園が定員を超えている状況もあり、今後の課題である。
・教材費の徴収について：幼稚園が教材費を徴収し、個人別の教材等購入しているが、幼保での格差が生じていることを検討する必要がある。

施設名・所在地	中筋保育園(中筋幼稚園) 京都府綾部市
設置主体	公立 (私立) (社会福祉法人立保育所に、廃園した公立幼稚園機能を加えた)
施設類型	1 幼保一体型 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	・隣接した公立幼稚園施設(1年保育)を市が貸与し16年度から事業開始 ・園児約240人。うち短時間児約80、長時間児約160(うち0～2歳約50人)。 ・公立幼稚園から教諭2人を派遣してこれまでの保育所・幼稚園で蓄積してきたものを生かして3～5歳児の保育・教育の充実を図っている。

1 職員配置

調査概要	・職員38人のうち非常勤職員(1年任期の職員等)としての雇用形態が30人。(経営上の理由) ・非常勤職員(1年任・常勤的勤務)が担任をしているクラスがある。 ・公立幼稚園から教諭2人を派遣してこれまでの保育所・幼稚園で蓄積してきたものを生かして3～5歳児の保育・教育の充実を図っている。
①評価できる点など	・保育所の職員配置基準を満たして実施している。 ・幼稚園教諭の派遣など、地方公共団体が支援している。
②課題など	・運営・経営上の困難さや今後の見通しの中で、非常勤職員(1年任期等)の割合がかなり高いことについては教育・保育の継続性の上での懸念がある。 ・非常勤の中には職員会議の対象外の人もあり、教育・保育の質の維持の上で懸念がある。
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

調査概要	・併有16、幼0、保3、無資格1
①評価できる点など	・3～5歳担当は、在勤保育士が通信講座等で全員幼稚園教諭免許を取得するなど意欲的。 ・非常勤職員も含め園外研修に参加させるなど努力している。 ・幼保の垣根を越え市内の公立幼稚園等の研修会にも参加。 ・学校教育課の指導を受ける等、公開保育を実施し、保育の向上に向けて積極的に取り組んでいる。
②課題など	・職員会議の問題など、常勤職員と非常勤職員との連携についてさらに工夫が求められる。
③その他特記事項	

3 施設設備(4を除く)

調査概要	・隣接する公立幼稚園を吸収。園庭も2所分ある。17年8月新園舎落成
①評価できる点など	・広い園庭、草花の栽培、遊具等戸外活動を行う豊かな環境がある。 ・年長児保育の環境設定も幼稚園教員との連携のもとで充実している。 ・1. 2歳児の午睡の場は、保育室を工夫して使用し、食事の場とは異なる場が確保されている。
②課題など	
③その他特記事項	

4 給食の状況

調査概要	・自園方式 ・園児増加によって職員に給食を提供できなくなった。
①評価できる点など	・アレルギー除去食や手作りのおやつ等今までの保育所での取り組みが生かされている。 ・食器の材質・形・大きさも配慮されている。
②課題など	・園児数の増加により、調理室の規模からも職員に給食提供ができなくなったことは、食育等の観点からは保育の後退。 ・アレルギー除去食については医師との連携が求められる。 ・3歳未満児の献立についてはさらに充実していくことが求められる。
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・0～2歳は保育所保育指針、3～5歳は市で定めた保育・教育指針に基づく。 ・私的契約児(幼稚園児)の預かり時間が、親の希望で全員16時まで。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の夏季休業期間中も含めて、1年間を5期に分けて保育長期計画が作成され、保育が実施されている。 ・幼(希望プラン)保(保育プラン)の子どもが同一クラスで共に保育・教育を受けている
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳から6歳までの一貫した成長を支える観点からの計画が策定されていない。 ・保育に欠けない子まで長時間預かりの傾向があることには親子の育ちの観点からの懸念もある。
③その他特記事項	

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・3～5歳児は同一年齢学級編成(長短混合)。公立幼稚園教員との協働による保育・教育。 ・異年齢保育の重要性を意識、計画的に実施。園児数が多いので、縦割りのグループ(3歳未満児を含む)を3つに分け、行事等に取り組む。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・同一年齢の育ち、異年齢の育ち、双方に配慮し、就学前の保育の基本である遊びを通しての保育に取り組んでいる。 ・地域の文化(和太鼓)を取り入れ、地域の方が子どもの指導を担っている。 ・行事についても、幼・保で意見を出し合い、総合施設としてよりよいものを作ろうとしている。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・1年目には、幼稚園が実施してきた教育が受けられないのではないかという保護者からの声もあったが、説明等することで、理解が深まってきている。今後も、保護者への情報提供を積極的に行うことが求められる。
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会は長短時間児共通であり、仲良くやっているとのこと。
--

8 子育て支援

調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育を実施。一時保育室を常設し、約30人登録、平均4～5人が利用。 ・新園舎に「語りホール」を設け、8月から子育て相談を開始。まだ利用者は少ない。 ・親子の集いの場を、今後実施予定。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・新園舎に専用室を設けるなど、子育て支援に前向き
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・住民に周知を図るなど、活用の拡大が今後の課題。 ・限られた職員・予算の中、地域住民やボランティアを園の運営に参画させるなど地域の力を活用していく視点も必要と思われる。
③その他特記事項	

9 その他

- ・綾部市では独自に「幼稚園」条例を制定し、今回の事業園をモデル事業に指定。市内全域の保育所を幼稚園(総合施設)化し、幼稚園は廃園にする意向。

施設名・所在地	アテネ幼稚園 山形県酒田市
設置主体	公立 (私立)
施設類型	1 幼保一体型 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・約40年前から幼稚園と0～2歳児を対象とする認可外保育施設を併設。認可外保育施設から上がってくる子どもに対応するため、幼稚園では開設当初から長時間利用児にも対応。 ・園児数約200人(短時間児約90人、長時間児約110人)

1 職員配置

書面調査概要	・0歳児に対する職員(両資格併有者+保育士)配置9:1
①評価できる点など	・認可外保育施設で1・2歳児は6:1の配置。低年齢児には保育士を必ず1名は配置。
②課題など	・0歳児は無資格者を含めて4～5:1の配置。
③その他特記事項	・従来から認可外保育施設として運営しているが、0歳児は子どもの数が安定しないため、毎年職員の確保に苦労している。0歳児については、財政的な支援があれば、3:1の配置が望ましいと考えている。

2 職員資格・研修

書面調査概要	・8月にカリキュラム・保育計画について研修実施。夏期休暇中に双方の職員を交換して配置。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児には保育士を必ず1名は配置。 ・幼稚園及び認可外保育施設共通の行事や、夏休み中の職員の交換配置により職員の相互理解を図った。
②課題など	・0歳児について保育士の配置が不十分。
③その他特記事項	

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	・施設設備が合同活動を想定していない。(天候により往来が左右される。)
①評価できる点など	
②課題など	・預かり保育についてより家庭的な環境が望ましい。
③その他特記事項	

4 給食の状況

書面調査概要	・自園調理(年齢に応じた対応、アレルギー、体調不良児への対応等きめ細やかな対応がなされていると回答。)
①評価できる点など	・自園調理で0歳児から対応。認可外保育施設の食事は、幼稚園の調理室から持ち込み。
②課題など	
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・合同や共同の活動を午前中に実施。
①評価できる点など	・年齢別のカリキュラムはあったが、年齢を一貫させた視点に欠けていたため、夏休みに職員の相互交流を行い、その上で現在新しいカリキュラムの作成に取り組んでいる。
②課題など	
③その他特記事項	

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・学級は3歳児2クラス(担任は併有2人+幼1人)4歳児3クラス(担任3人はいずれも併有)。
①評価できる点など	・同一敷地内に幼稚園と認可外保育施設が併設されており、従来から異年齢交流を実施。
②課題など	
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

①評価できる点など	・3歳児の半分は認可外保育施設から上がり、残り半分は初めて入園するため、例えば給食についておやつ給食から始めて徐々に本格的な給食に移行するなど、集団生活の経験の差に配慮しているとのこと。 ・3歳以上児は同じ学級で短時間児と長時間児が混じっている。登園時間と降園時間に差があること自体は子どもも次第に理解するが、登園時間の異なる子どもの活動を調和させることに配慮しているとのこと。
②課題など	

8 子育て支援

書面調査概要	・親子登園は実施していない。
①評価できる点など	・認可外保育施設で0～2歳児に対応しており、未就園児の受入れはあるが、親子登園のような事業を特定の曜日を設定して行うなど意識的に実施しているわけではない。 ・20年ほど前から、病院への通院など保護者の一時的な保育ニーズに対応。利用は園児に限定されないが、登録が必要。 ・病児・病後児の預かりを検討中。
②課題など	
③その他特記事項	